

平成29年6月7日  
 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題 大東モリモリ奥出雲出荷者会総会にて「産直GAP研修会」開催

(ダイジェスト)

平成29年6月2日(金)に雲南市大東地域交流センターにおいて、大東モリモリ奥出雲出荷者会(会員数207名)の第16回総会が開催されました。今年度の事業計画には、「新鮮、安全、安心」を心がけ、お客様からの信頼を得ることを重点に置くことが明記され、総会終了後に早速「産直GAPにとりくもう！」研修会が行われました。

大東モリモリ奥出雲出荷者会は、雲南市大東町の産直生産者の団体で、Aコープだいう店内の「大東モリモリ奥出雲」コーナーに出荷している生産者209名から組織され、今年度の販売額は4千万円を超え、雲南地域の中心的な産直店舗のひとつとなっています。

今年度の総会出席者は77名(昨年68名)で、毎年10名程度ずつ出席者が増加しているとのことで、100名規模の会場が満席でした。

事業計画には、各種講習会の開催や産直振興大会、視察研修、感謝祭の実施など多くの活動が盛り込まれ、さらなる販売拡大と農家所得の向上を目指すことになりました。

総会終了後は、「産直GAPにとりくもう！」と題して、東部農林振興センター雲南事務所農業普及部から、GAPの考え方や取り組み方について説明し、写真等を交えて具体的なチェックポイントや目の付け所などに理解を深めました。

今後とも、産直GAP実践のヒント資料を会員に提供しながら、事務局(JAしまね雲南地区本部)とともに、取組拡大に向けて支援することになっています。



総会・研修会の様子

**産直GAPにとりくもう!** 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

GAPって  
きいたことありますか?  
良いやり方で  
農業をしていますか?  
安全な産物って  
何でしょうか?  
消費者に  
わかってもらうために

良い農業実践ポイント

- 生産物の安全
- 作業の安全
- 地球環境を守る
- 生産管理のしくみ

信頼される生産現場

**PLAN** あれも これも  
あんなところも

危険なところをみつける  
作業計画を立てよう

**DO** やってみよう

危険なところをへらす  
記録しよう

**CHECK** どうだったかな

点検する  
改善点を見つけよう

**ACT** ここを見直そう

工夫や見直しで  
もっとよくしよう

<参考> 2020年東京オリパ大会の「農産物」の産直標準基準  
 ①農産物の安全性の確保  
 ②健康や生態系と調和のとれた生産  
 ③作業者の労働安全

※上記の要件を満たすもの  
 ○JGAP Advance または GLOBAL G.A.P. または 産直委員会が認めるもの  
 ○国がイテラオンに完全準拠したGAP + 都道府県等による第三者の検証